

環境に係る情報協議会

国営農地再編整備事業 浜中地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》

【現状】

浜中町 浜中町は、雄大な景観と多様な同植物が生息・生育する良好な自然環境やゆとりある生活空間を有し、量的にも質的にも、優れた環境に恵まれた地域として、高く評価されている。

基幹産業である酪農は、国営環境保全型かんがい排水事業等により家畜ふん尿処理施設の整備が進んだことにより、家畜ふん尿を貴重な資源として農地に散布還元する資源循環型農業が展開されている。また、一部の排水路では土砂緩止林も整備されるなど、下流河川への土砂流出防止にも寄与している。

また、地域を流下する風蓮川、姉別川及び別当賀川等の主要河川は、河畔林を有しており、優れた景観を形成するほか、動植物の貴重な生息・生育環境となっている。

【課題】

浜中町 農地の基盤整備等工事における土砂流出防止対策による生態系保全・水質保全、林帯の必要最低限の伐採対策による景観保全・生態系保全に配慮する等、環境保全に努める必要がある。

《環境保全の基本的考え方》（各市町村「田園環境整備マスタープラン」より）

浜中町 農地の基盤整備等工事における土砂流出防止対策による生態系保全・水質保全、林帯の必要最低限の伐採対策による景観保全・生態系保全に配慮する等、環境保全に努める必要がある。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

○ 調査位置の考え方

農地周辺の林帯、排水路・河川に生息・生育する動植物への影響がないように配慮する。

本地区は東西方向に約30kmと広がり、かつ主たる河川流域が風蓮川とその支流姉別川に大別していることから、調査は、この2河川系統で実施することで、地区全体の環境の同一性や相違を確認する。

○ 調査項目の考え方

既往調査の情報が不足しているため、現地調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目 ①鳥類 ②哺乳類 ③昆虫類 ④両生類・爬虫類
⑤植物 ⑥魚類 ⑦底生動物 ⑧水質

○調査方法 鳥 類：ポイントセンサス法
哺乳類 類：目撃法、フィールドサイン法
昆虫 類：任意採取法、ライトトラップ法、ベイトトラップ法
両生類・爬虫類 類：目撃法、フィールドサイン法
植物 物：植物相調査
魚 類：採捕調査
底生動物 物：定性採集法
水 質：濁度、SS